

8月
上旬発行

生活の 基礎づくり編

NPO法人

全国LD親の会 編著

安住ゆう子 監修

発達が気になる子の 子育てモヤモヤ 解消ヒントブック

親の会30年の経験から



全国LD親の会が、各地の親の会会員からアンケートをとり、主に幼児期から学童期におこった困りごとや悩みのエピソードを聞き取り、テーマごとにまとめてみました。

子どもの伴走者として親が経験してきたことをもとに、悩みながらも子どもに合わせて工夫したことやヒントになるようなアドバイスを盛り込みました。良かったことだけでなく、「こうすれば良かったかも?」「もっと他に対応の仕方があったのでは?」といった反省点も入っています。現在、子育て中の親が、自分たちらしく子育てをしていく上でヒントとなるような内容です。

また、家庭での工夫や子どもの様子、親がどのようなことに困っているのか…などもわかり、療育にかかわる人、学校の先生などには必読の書です。

今後の
刊行予定

- 2021年10月 集団生活編
- 2021年12月 世界を広げる編(仮)
- 2022年1月 学ぶ力編(仮)
- 2022年3月 家族・地域・保護者みんなとつながろう編(仮)

定価1650円(本体1500円+税)
A5判/約160頁/本文2色
ISBN978-4-7803-1169-3 C0037

PROFILE

- (全国LD親の会) LD(学習障害)など発達障害のある子どもを持つ保護者の会の全国組織。1990年2月に活動をはじめ、発達障害への理解を進める活動や支援や制度の充実を求める活動をしている。全国LD親の会に加盟している各地の親の会は、子どもたちの友だちづくりや社会性のトレーニングのために、あそびや勉強会を企画したり、講演会や学校・職場見学会などの勉強会、会員どうしの相談会をおこなったりしている。現在、32都道府県の39団体、約2000名が参加している。
- (安住ゆう子) NPOフトゥーロLD発達相談センターかながわ所長。公認心理師、特別支援教育士SV『あそびっくす まなびっくす』など、著書多数。

かもがわ出版

〒602-8119 京都市上京区堀川通出水西入る
TEL 075(432)2868 FAX 075(432)2869

発注・出荷に関するお問い合わせは 〒601-8122 京都市南区上鳥羽北塔ノ本町18
かもがわ出版流通センターまで TEL 075(672)0034

注文書

書店印

条件
部数
冊
新刊委託

かもがわ出版 注文FAX: 075-672-0035

発達が気になる子の
子育てモヤモヤ解消ヒントブック
生活の基礎づくり編
～親の会30年の経験から～

NPO法人全国LD親の会〔編著〕 安住ゆう子〔監修〕

ISBN978-4-7803-1169-3 C0037 ¥1500E

定価
1650円
(本体1500円+税)

第1章 食べること

食べこぼしが多い／スプーンや箸がうまく使えない／好き嫌いが多い／同じものばかり食べる／少食で、食べるのに時間がかかる／食事の時間にしっかり食べない／料理に挑戦してみよう！

COLUMN 楽しい食事が一番

第2章 衣服の着替え

着る服に限られる／着替えで困ること／靴がはけるまで／服の着かたが無頓着／気温に応じた衣服の調整ができない／自分で服を選べるように

COLUMN ボタンの練習

第3章 生活リズムを整える

夜の睡眠がうまくとれない／昼間、寝てしまう／時間経過の把握が苦手／ゲームを長時間してしまう

COLUMN ゲーム障害

第4章 清潔に過ごす

洗顔や洗髪が苦手／歯磨きが苦手／うがいができない／散髪が苦手／トイレの失敗が多い／入浴したからない／汚れが気にならない

COLUMN お風呂に入りながら伝えたいこと

第5章 金銭管理

おこづかい／お年玉やお祝い金／こづかい帳／キャッシュレス決済／金銭感覚を身につける①(日常使いの金額)／金銭感覚を身につける②(大きな金額)／現金の扱い方

COLUMN お金を使う意味

第6章 コミュニケーションの基礎を育てる

ことばが遅い／話し相手を見ることが苦手／言いたいことを伝えられない／会話が成り立たない／思ったことをそのまま言ってしまう／乱暴な動作／大切なことを伝えられない／伝えられないもどかしさ(かんしゃく・暴言・暴力)

COLUMN コミュニケーションとことばの関係

第7章 お手伝い

片づけ／そうじ／料理／生き物の世話／その他のお手伝い

COLUMN 自尊心

「もやもやエピソード」は、子育て中に悩んだり、現在進行形での出来事などをトピックにし、それに関連した実体験を「ココかな」「ポイント」に載せています。子育てのヒントがあふれています！

1-1

食べこぼしが多い

🍴🍷🍴🍷🍴🍷

離乳食が始まってから、食事の時間は競争のよう！よくこぼす、コップを倒す、皿は汚れる、手や口の周りは食べ物でいっぱいになり、もう大変。自分でスプーンを扱い始めるも、運ぶ位置がズレたり、口まで運んでも食べ物も落ちてしまったり…。汚さないで食べて欲しいけれど、ダメ出しばかり続かぬように、身の回りをきれいに整えるように、本人に合った方法が見つかるといいな。

🍴🍷🍴🍷 ①「飲み込む」ことが苦手

生後間もない頃、「母乳がうまく飲めない」と言われ、母乳の飲み方にも上手下手があると知りました。幼児期になっても、食べ物をよく噛まないで飲み込んでしまったり、水を飲み込む口から溢れ出したり、「飲み込む」ことが不得意でした。「飲む」練習はまずストローからと始め、ストローが付いたマグを使っていたのですが、保育園で「ストローはコップでゴックンができてから」と教わりました。コップを傾けると水が少量だけ上の部分に出てくるマグに切り替えました。

🍴🍷🍴🍷 ② 飲み込むことがうまくできず、食べ物の味を楽しむどころではなかったわが子でしたが、飲みやすい容器など道具を工夫することで大変さが減り、少しずつ食事がスムーズになりました。

🍴🍷🍴🍷 ③ 汚れても気にしない

「口の周りに、ごはんがついてるよ」と言っても、まったく違う場所を触るだけなので、付いている場所を指で触れて教えるようにしました。食後に鏡を見て口の周りを自分で拭かせると、汚れていることに気がつくようになってきました。



食事の時に口の周りを拭くため、好きなキャラクターのタオルを用意しましたが、食事中にキャラクターが気になってしまい逆効果。ごく普通のハンドタオルで十分でした。

🍴🍷🍴🍷 ④ 小さいときの食べこぼしはほとんど気になりませんが、小学生の高学年になっても口が口こぼししていると周りからも指摘されます。小さい頃から習慣化することが大切だと感じています。

🍴🍷🍴🍷 ⑤ お皿の周りが目に入らない

お皿の周りにスプーンが置いてあるのに「ない、ない」と探します。視野の中央しか目に入っていない感じです。「ここにあるよ」と教えると「ホントだ」と言うので、注意すれば目に入るようでした。コップはお皿の向こうと定位置を決めて、置く時に「ここに、お皿のコップを置きます」と伝えるようにしました。

🍴🍷🍴🍷 ⑥ 食べている時、子どもは食べ物で覆られているお皿しか目に入っていないので、お皿の周りに置いているコップなどを倒してしまい